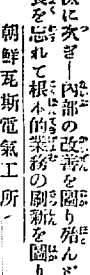


◆朝鮮瓦電の一大活躍

朝鮮の安岡口釜山港頭の電氣事業は、百九十九之七を十萬光に換算すれば、一萬三千六百二十二分にして瓦斯の要は三百八十八立方呎、即ち七百九十キロワット、動力一四、四千二百二十の一、大澤洋行にて機油の運送に伴ひ、必要の費用は概して充て止る。是の一大澤洋行と鐵道との連係に伴ひ、

朝鮮瓦斯電氣會社
電報開通式の景



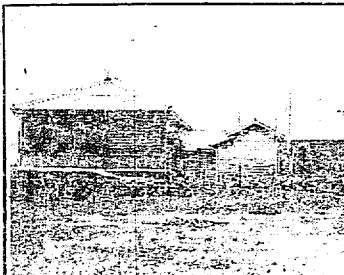
前途一段の光明あり

山の電氣會社は朝鮮界の親者たる
京城電氣株式會社の支店にして其
創立は明治四十三年六月九日電
業事務施行を許可せられ同年十月
京電鎮海鐵壓所

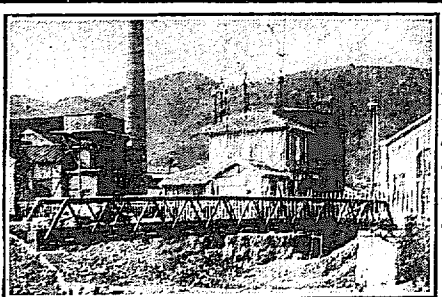


逐年業務發展の盛況

山電氣株式會社の所在地たる群山市に足るものにして發電機は原動力に
 北は錦江を隔てて忠清に對し東はり開華を以て連繫せる裝置なり日
 味敷殿なる全北、忠清兩道の大部電綫路の延長は實に七哩七に達せ
 を高勢園に占むるを以て本綫を初めて兩社が營業開始の當時は僅に
 千數の如き電氣三百五十六戸に數數



光州に支社創立の計畫

[illegible]

堅實なる其の經營振り

釜山、湖南兩綫の分岐點にして釜山に於て大邱に次ぐ貨物の集散地四通八達兵衛士を推し支配人は斯界に名譽職を有する鐵腕の村尾吉夫君所轄の範圍は約三千坪を有し七十畝に設けられた太田電氣株式會社は去年資本金九萬圓を以て創立社長には京城の元老たる山本元一氏は京城の元老たる山本



京城出張所

六百二十一戸なりしも社長安部
 郎、専断取締後樋口虎三の氏
 意望の發展を許したる結果本
 年七月の需川戸數八四八戸、燈
 六千二百四燈に暴落、〇三燈の
 八百九十九戸、燈數千〇三燈の
 を示すに至り、其數差續の如き
 變態たる大正三年上期より十
 年上期に至る迄既に一律に付
 分の利益配當を爲し大正四年上
 期の利益配當を爲し大正四年上
 期よりは一躍八分の配當を斷行す
 に至り同社の創業比、政的、若年なるは偏位
 不拘、如斯功績を挙げたるは偏位
 専断の適材を適所に配し、若年
 意と奮闘努力の賜と言はざるを
 とす、尙ほ同地は米穀の主眼集積
 に拘り、米工業場、他小工業の進
 伸、併之に供給する目的の計に
 改革の計畫あると聞けば、更らば
 の經營の暇、手乏として、早下す
 期に待つ可し

京成府南米倉町一六
 電話七八九番

[illegible]

東京 城 黃 金 町 二 丁 目

加藤商會 京 城 支 店

電話 一 四 七 二 番 店 本 尾 張 瀬 町

上野新館低價六百餘員定價金一圓五十錢
 五千部限特價貳圓
 最近九十年間に於ける世界大勢の變遷推移、列強の合戦の餘瀝各國民の悲感、主動的に企て各種の經濟的進歩を遂行し、以て日本帝國の將來を遠觀し日本國民に多大の警告と暗示とを與へたる世界の名著也。
 東京商務印書館
 發行所 民友社出版部
 京城 本城二丁目
 賣捌所 京城市報代理部
 電話六六〇番 振替東京三〇〇番
 電氣用陶磁器類及
 電氣材料器具販賣
 電氣工事設計請負

古河合名會社
 東京城出張所
 東京城南門通二丁目廿五番地
 電話「長」五八九番
 東京線 護謄線 電求線 被鉛線
 綿卷線 電話線 地下ケーブル
 裸撚銅線 其他各種
 金、銀、銅、鉛、亞鉛、錫、石炭、銅線
 銅棒、銅板、銅條、真鍮板、真鍮棒
 真鍮線、真鍮條、亞鉛板、鉛管、鐵線
 其他各種板、裸撚鐵線、各種鑽石賣買

小林躑月作 武内桂舟畫

A black and white illustration of a man and a woman in a room. The man is kneeling on a patterned mat, looking up at the woman who is standing and looking down at him. The room has a window with a grid pattern and a small 'X' mark.

從つて、彼の語氣も遽かに鋭く變つた。

「さあ、お嫁入りと云ふ譯でもないですけれども、強て言へば、矢張お嫁入り見たよなもんですね。」

お久は、可なり平然たるものであつた。

「分りませんな、何うも殺母さんの被仰る事は、強て言へば、お嫁入り見たよなものとは、一體什う云ふ事柄なんでせう。」

「困りますね、幸ちゃん、然うお前さんのやうに根掘り葉掘り試かれたつて、妾御挨拶が出来や爲ないのが、苦處。お前さんとお袋さんとのが、」

●年賀用名刺十五日限り

東京
太平堂名刺鋪

電話三三七二番盤番三三六七番
給紙に御承知さ(爲て下されば、そ

る日新聞を出版せしむるの將來を問ひ、最中に米國軍刀輸入的の條件を以て問題として歐米刀輸入の困難なる點を試み、その中主義及び帝國主義を移れる米國勢力の長所等を研究し彼に對する日本の態度を明かせんとする。この事業は、第十九號二十五號東京市山田區喜多町富山房) ●世界大戰と日本の前途 工學博士山岡健一師著 歐戰以後の日本海軍の大擴張と陸海空軍の進歩並に支那の如何に中國の防衛と全國國防政策の變更して、時的の必要に應ずる一部隊の改裝を受けた時勢の急激に進歩的進歩するの趨勢を豫め認めざるべしの新機軸を失はず。此等事實を詳述し、八十二羽次說明書) ●楊合泰精製茶葉の長壽壽藏田信長氏、津井長吉氏の後裔より明治四十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治四十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治四十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治四十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治四十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治五十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治五十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治五十二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治五十三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治五十四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治五十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治五十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治五十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治五十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治五十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治六十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治六十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治六十二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治六十三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治六十四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治六十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治六十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治六十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治六十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治六十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治七十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治七十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治七十二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治七十三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治七十四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治七十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治七十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治七十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治七十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治七十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治八十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治八十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治八十二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治八十三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治八十四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治八十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治八十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治八十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治八十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治八十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治九十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治九十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治九十二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治九十三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治九十四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治九十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治九十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治九十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治九十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治九十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百零一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百零二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百零三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百零四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百零五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百零六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百零七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百零八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百零九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百五十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百五十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百五十二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百五十三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百五十四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百五十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百五十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百五十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百五十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百五十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百六十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百六十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百六十二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百六十三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百六十四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百六十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百六十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百六十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百六十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百六十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百七十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百七十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百七十二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百七十三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百七十四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百七十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百七十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百七十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百七十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百七十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百八十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百八十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百八十二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百八十三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百八十四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百八十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百八十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百八十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百八十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百八十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百九十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百九十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百九十二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百九十三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百九十四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百九十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百九十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百九十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百九十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百九十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百二十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百三十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十二號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十三號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十四號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十五號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十六號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十七號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十八號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百四十九號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百五十號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百五十一號藏茶を贈り、津井長吉氏の後裔より明治百五十二號藏茶を

れて「お説教は聞いてやう」といふので、
「いや、議論は大有りなんです。標
が承知したと云ふ一言を齒から外へ」
出さん以上は、親代さんは、正に倅
の許婚の妻ではありませんか。そ
だのに唯理曲もなく、他へ行くから
被験にせよと被仰つても、そりや少
しく無法と云ふもんではないでせう
か」と、幸三郎は、更に手強く言ひ
切て、自分の許の方へ腰を向け直
した。ねね、阿母さん、僕の言ふ所は
道理に反してゐるでせうかね。」

矢張りお説教

●「第生命保険相互會社第十四回結
告(日) 大正四年九月一日至八月三十一日」東京市本郷區の一其社

●力の研究(二) 十五錢東京市本郷區
手取町四十四番市南

●大倉外國新聞社認定價表大正六年
度一定額新聞東京市本郷町大倉會社外國
大日本新聞社三一九 五錢東京市本郷區
有樂町一四其社

●近頃は電車
中で席を譲る
人あまなり流行
りなつたんだ
らうか、所々あつ
た。

●説者の(八)

最初から何事をも言はずに、お久さま三郎との押問合を耳を傾けて居る。三郎は、

「京都南大病院第一兒科内（電話六七〇）
肛門注射射門醫院
出張 患者の都合により
期日 來十二月二十五日
迄延期す

患者參考
最新式痔核根治注射
療法申込次第進呈

な老母は、此の時漸く三寸ばかりも小腰を前に突出だした。

「幸三郎、お前の言う所が道理ですと、言つて親父の叔母さんの被仰る（たがひ）て、

でも此人は知つて居る様な知らない様な顔をして坐りもしないそれかど云つて自分が逆戻りして坐るのも可笑しい顔の間の悪い事が時々ある（ツリ革）▲往來から見る所に掛けてある商店などの時計で時聞の正確なのが、少ないがあれは店用のために拘る事だか午鐘と合せて置きたい衆人に見せる大時計などの時聞を置つて居たり止まつて居るのでも不便なものだセカンド生▲大和町の某家の奥様何時も乍ら女中の出入が頻

お話を、頭ごなしに爲るのではありませんが、一體此の破談のお話は、事情の有無よりも、肝腎本人の郷代さめが、承知の上であるか無いかを確かめたい時には、迂闊に御近察を致す譯にはゆきません。流石に弊の功である。老母は早くも白富家の裏面を見抜いたものと思しく、肝向から先づお久の急所に浴びせたと。

新刊紹介

▲最近著書文達成(大村晴月監修) 本書の特色として、上巻の文題に就いて上輩同僚と交遊し對する文意口舌當體體裁多數の文章及び後拾得の著者私稿と一する文章の書き分け方を知りたし、中巻の漢語熟語千集で、其の用字に依りて得る漢語知識に實例を舉げ、其の活用を明したる如きは如何に卓抜たる工夫と音韻よく初學者にも依つて模範辭源の用法に類して得るを得べき指針として書文の正逆を示せる川原共に見えぬ。先づ東京東區神田區錦町鈴木不可門、五月六日午後速送也。

▲現代の亞米利加(早稻田大學教授岡田孝典著) 米利加、早稻田大學教授岡田孝典著、新編嫁様もあきれお出でませう、すねずね喜ぶのは口入居ばかりです、(三本筋) ▲聖城は小柴族でもよいふ、落物が寶澤な様に思はれます、親心として人並にはやすり度しつい思はね費用を掛けますがそれも生活の向上と云へば已むを得ますまい。(ボンド出女) ▲寒くなるとも一番面倒なもの洗滌だがそれかあらねか近頃洗濯屋による手間を惜んで苛性鹼液を澤山ブチ込むものだから買ひ立てのワイシャツでも直ぐ穴が開いて了ふ少しはお客に優申工合も考へてもらい度い(物干臺) ▲市内の道路は右側通行電車は右側疾走然るに汽車だけは左側待つて左側を走つて居るシケルナ。

▲東京總病院の病歴 東京日本橋區根津の通稱根津上野車庫工員飯島林太郎の癩病の病歴は、癩病小僧林太郎の癩病の開始は三月十三日、四年前有る麻痘流行の翌年正月一日、月間四回、

being prepared from the best materials by the thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism.

The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuya Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and, moreover, easy to be absorbed and assimilated.

Price ¥ 1.50.

定價一樽金壹圓五拾錢

規瓶、鐵及葡萄酒は各健胃補血興奮強壯等の諸効驗を舉ぐるものにして、殊に此の三者を配合して所謂那鐵葡萄酒となし、食事に臨んで之を服用せしむれば、三者を容易に且速決に用ふることを得て、何れも確實消化吸收され、其の妨留の愈増大するところは既に公知の事實に屬す。難、其の製法不當ならんか將又其の品質不良ならんか、之を服用するも實に無効なるのみならず却て不快なる結果を齎すこと言を俟たざるなり、然るに本品は概本に於ける諸種の製品と比し原料に就て調査研究を重ね山形縣西田郡葡萄酒製造所製鐵が天然葡萄酒酒を基礎とし人造著色料を用ひず、純良有効なる規那鐵を持殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものを故に、容れに貯藏する憂なく、規那、鐵及葡萄酒の他は、慢性の發熱下痢等起る病、貧血より起る神經性疾患殊に神經衰弱、ヒステリー、夜夢不足、慢性的發熱下痢、貧血、素養一般の諸弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なると同時に、精神の困憊並身體の疲勞を回復し、元氣恢復體力増進を欲す場合に推奨すべき絶好の家庭必需品なり。

如斯人は滋養強壯料○ミツワ規那鐵葡萄酒を適用すべし▲

一、 一般に貧血して居る人	一、 食事の進まず人	一、 下痢の永く頻いて居る人
一、 營養の不足なる人	一、 勉強又は勞動して疲れた人	一、 神經衰弱に罹つて居る人
一、 生來の色澤認め難い人		一、 陰交や遺精など生殖器神經衰弱に悩んで居る人
一、 手足が冷めて痠つかね人	一、 精神及び筋骨の疲勞を遂に回復したい人	一、 ヒステリー俗に謂ふ血の道に凝はれて居る人
一、 身元の瘦削して居る人	一、 精力が減衰元氣の無い人	一、 ヒコングンに苦んで居る人
一、 産後や病後の衰弱早く回復したい人	一、 腹痛即ち瘰癧に罹つて居る人	一、 素養病など血液の病に侵されて居る人
	一、 肺結核や扁桃結核其の他結核性の病等にて發熱の永續いて居る人	

健胃補血興奮作用卓絶



香味色佳良滋養力偉大



芳香醇良なる本邦産天然葡萄酒を基礎とし
完全なる吸收性及同化性を併有せしめたる
みつわ規那鐵葡萄酒

擔任技師 藥學士 河西嘉一

ミツワ石鹼
ミツワ家庭藥
肝油ドロップス
發賣二元

代理店
洋酒、食料品
化粧品、雜貨、

藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋

登錄商標

丸見屋商店

電信略號〇ミヤ……………振替口座東京七一〇番
營業部電話關西區浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

大阪市東區高麗橋貳丁目

松 下 善 四 郎

煉乳、賣藥
直輸入商

[illegible]